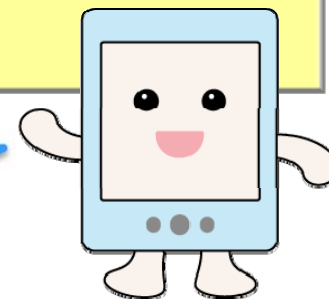


タイプBの実践コンテンツ

【目次】

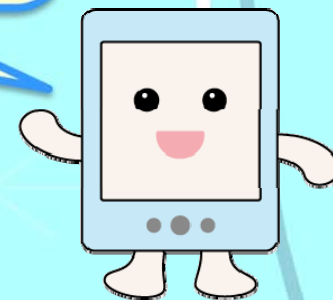
- 主なコミュニケーション手段
- メール
- マイクロブログ
- SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
- 情報発信をする場合に注意すること

交流手段が多いととても便利ですが、
注意点も学びましょう！



主なコミュニケーション手段

主なコミュニケーション手段について、
それぞれの^{とくちょう}特徴や使い分け方を
知っておく必要があります。



主なコミュニケーション手段の特徴

①電子メール(メール)

電子メールは、世界中どこにいても、いつでも、瞬時に指定した相手へメッセージを送れる手段です。

②ブログ

日々こうしん更新できる日記風のWebサイトのことです。
基本的に、不特定多数の相手に公開されます。

③マイクロブログ

一度の投稿とうこうで140字程度の短い文章を書き込むブログのことです。
基本的に、不特定多数の相手に公開されます。

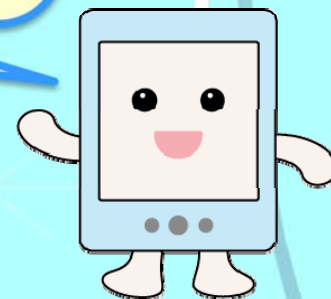
④SNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)

Web上で共通の趣味や話題を持つ者同士がコミュニケーションできるサービスの
ことです。基本的に、不特定多数の相手に公開されます。

次は、さらに詳しく特徴や注意点についてみていきましょう

メール

メールは一番基本的なコミュニケーション手段です。普段から何気なく使っていますが、意外に注意すべき点があります。



メール送信の注意事項(1)

① メールを送信する前に、メールがコミュニケーション手段として適切かどうか判断

- ✓ お詫びの連絡や、やり取りが煩雑はんざつな場合は、電話や対面の方がよい
- ✓ 携帯電話にメールを送信する場合、緊急時きんきゆう以外は深夜や早朝に送信しない

② 宛先：送り先を間違えないようにする

- ✓ 宛先が間違っていないかどうかを確認してから送信する

③ 件名：簡潔かんけつかつ一目で内容がわかるように

- ✓ 「委員会の日程について」よりも「〇〇委員会の日程再調整ちようせいのお願い」と明確に

メール送信の注意事項(2)

④ 添付ファイル: データ量が大きいファイルは圧縮したり、分割して送信する

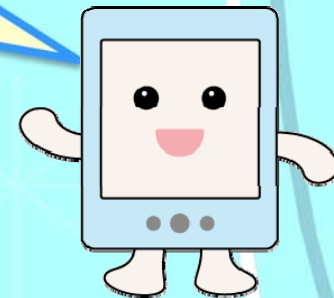
- ✓ 目安として、7~8MBを超えるファイルは届かないか、届くのに時間がかかる恐れがあるため、大容量ファイル転送サービスの利用を検討する

⑤ 本文: 誰から誰へのメッセージなのか、何を伝えたいかを明確かつ簡潔に書く

- ✓ 初めてメールを送る相手には、最初に自分の名前を名乗る
(何度かやり取りをしている相手には、本文の最後に簡単な署名をいれればよい)
- ✓ レイアウトや文字の色・大きさ等が変えられる形式のメール(HTML形式)は、わかりやすく伝えることができる。一方で、HTML形式のメールにはコンピュータウイルスがひそんでいる場合もあるので、文字情報だけのメール(テキスト形式)のみを指定して受信するユーザも少なくない。

マイクロブログ

140文字程度で記述する簡易なブログのことで、
気軽なコミュニケーションに便利です！
例えば、日本では「Twitter」などが知られています。



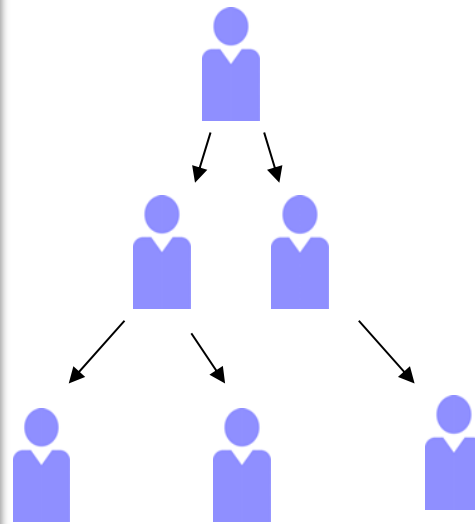
マイクロブログの特徴

- 思いついたことや自分のアイデア、感想などを短い文章で発信(つぶやき)するのに適しています。
- 公開範囲を設定をすれば、自分が承認した人に限定して公開できます。

メリットとデメリットをよく理解して活用しよう。

メリット

- 「つぶやき」をコピーして伝える方法が連鎖して広げることができます。
- インターネット上で新しい仲間をつくることができます。
- とくめい匿名で登録できます。



イメージ

デメリット

- 使い方によっては、個人情報もれる場合があります。
- 自分の「つぶやき」が知らないところで広まり、思わぬ誤解を生むことがあります。

マイクロブログの基本的な使い方

友人の名前や興味のあることを入力して、検索できます。

<トップページ例>

microB 検索 ホーム おすすめ アカウント

Taro

つぶやく... 投稿

Hanako 今日は雨かー。いやだけど、新しい傘つかおっと！

Taro @一郎。僕も情報について勉強したよ！

一郎。今日の授業は情報について。詳しくお父さんに聞いてみよう。

Taro おじいちゃんがiPad使ってる！僕も使えるようになりたいな。

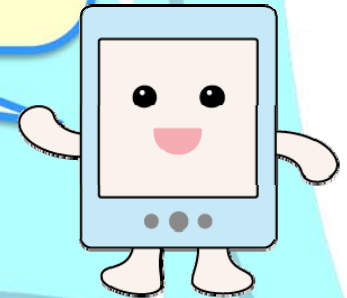
ここに書き込んで
どうこう
「投稿」ボタンを押せば、自分の近況を短い文章で投稿できます。

みんなの近況を見ることが出来ます。
他の人の投稿を人に伝えたり、お気に入りに登録することもできます。

SNS

(ソーシャル・ネットワーキングサービス)

SNSとは、インターネット上で共通の趣味や話題を持つ者同士がコミュニケーションできる会員制サービスのことです。
例えば、「Facebook」や「mixi」などが知られています。



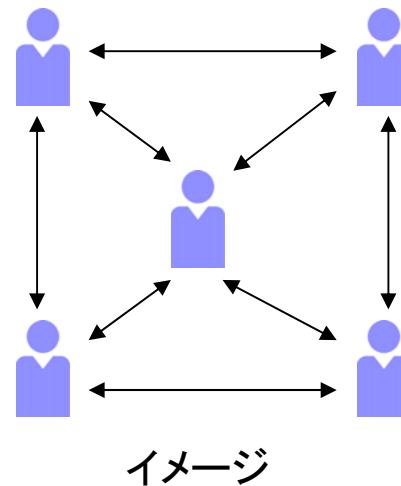
SNSの特徴

- 思いついたことや自分のアイデア、感想、写真などを長文でも発信できます。
- 公開範囲を設定をすれば、自分が承認した人に限定して公開できます。

メリットとデメリットをよく理解して活用しよう。

メリット

- 遠方に住む友人とのコミュニケーションができます。
- インターネット上で新しい仲間をつくることができます。



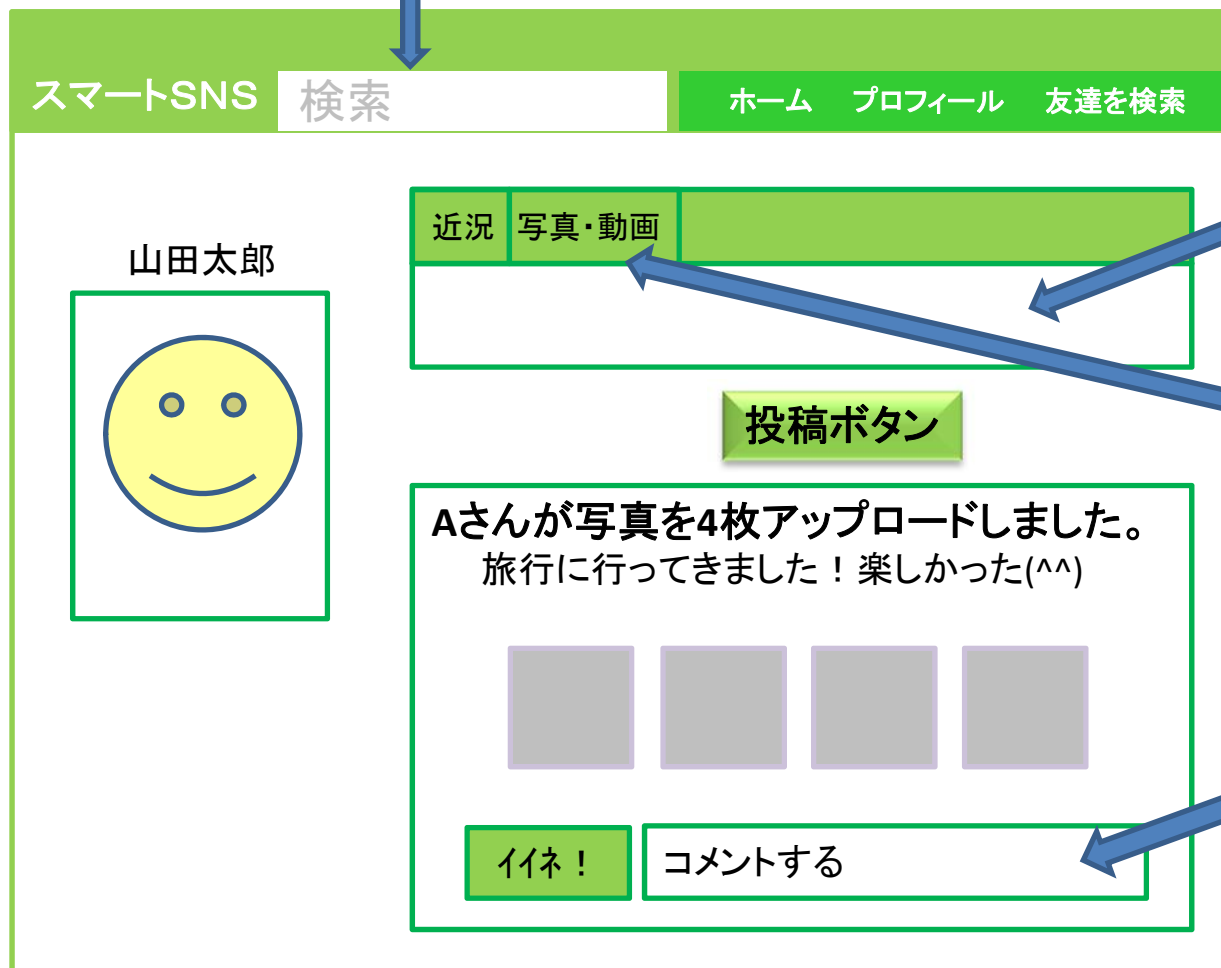
デメリット

- 使い方によっては、個人情報情報がもれる場合があります。
- 公開範囲を設定しないと、プライバシーが守られない場合があります。
- 犯罪目的の交流に利用される場合があります。

SNSの基本的な使い方

友人の名前や興味のあることを入力して、検索できます。

<トップページ例>



ここに書き込んで
「投稿ボタン」を押せば、自分の近況を文章で投稿できます。

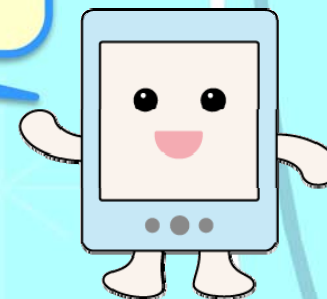
ここを押せば、写真や動画を掲載できます。

友人の近況報告に対して、評価するボタンを押して評価したり、コメントを書きこむことができます。

SNSには様々なものがあり、それぞれ特徴があります。
それを理解した上で、自分で試してみましょう。

情報発信をする場合に 注意すること

情報発信が気軽にできる分だけ、
様々な点に注意する必要があります。



情報発信する場合の注意点(1)

今まで、メール、ブログ、マイクログ、SNSについて詳しく説明してきました。デジタル情報は便利ですが、簡単にひろがってしまうため細心の注意が必要です。ここからは、情報発信するときの注意点について説明します。

ネット上に個人情報を許可なく掲載しない

他人の顔写真や氏名などの個人情報を、許可なくネット上にのせてはいけません。当然、自分や家族の情報や、自宅の場所などが推測できる情報をのせる場合も、悪用されないかどうか、慎重な判断が必要です。



情報発信する場合の注意点(2)

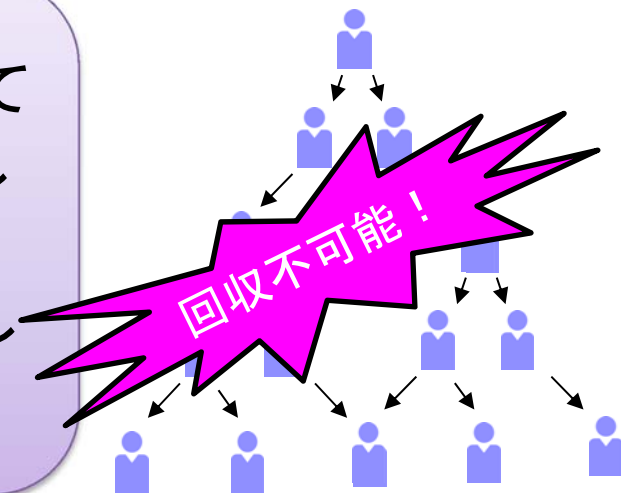
ちよさくけん 著作権法違反ではないか確認する

テレビや新聞などのニュースや他の人がネット上で提供している情報を活用する場合でも、著作権法違反にならないように気をつけましょう。



けいさい 一度掲載した情報は、完全には消せないことを心に留めておく

ネット上に一度のせてしまえば、後になって自分で削除しても、他の人がすでに入手してしまっている場合があります。完全に消し去るのは不可能だと思って慎重に利用しましょう。



情報発信する場合の注意点(3)

情報化社会におけるモラルとマナー

実生活と同様、インターネット上においても、モラルとマナーをもって行動することが大切です。

➤ メール、ブログ、マイクロブログ、SNSなどを適切に利用するためには、それぞれの特徴を理解することが必要です。

- 一般的な利用者の場合、発信内容、^{えつらん}閲覧内容、「友達」、位置情報等により、名前を明かしていなくても発信元を特定できる場合が多いです。
- メールなどは、直接会って話しているわけではないため、誤解を生む可能性があります。



インターネットを適切に活用するために、
慎重なコミュニケーションを
心がけましょう。



このコンテンツはこれで終了です

それでは、
次に進みましょう！

